



平成 24 年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 南海電気鉄道株式会社
代表者名 取締役社長 亘 信二
(コード番号 9044)
問 合 せ 先 経理室経理部長 田内信彦
(TEL 06-6644-7145)

固定資産の譲渡、減損損失の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 3 月 29 日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産を譲渡することについて決議いたしました。また、平成 24 年 3 月期におきまして減損損失を計上する見込みとなりました。

これらの事項を織り込んで、平成 23 年 10 月 31 日に公表した通期業績予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 固定資産の譲渡について

(1) 譲渡の理由

当社グループが営む競艇施設賃貸業において、当社が保有する競艇場施設を連結子会社である住之江興業株式会社に集約し、同社において当該固定資産の一元的な管理を行うことにより、効率的な運営をはかることを目的として、譲渡するものであります。

(2) 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	譲渡価額 (注 1)	帳簿価額	売却益概算 (個別)	売却損概算 (個別)	売却損概算 (連結) (注 2)
住之江競艇場・南北スタンド 鉄骨鉄筋コンクリート造他 延床面積 27,973.79 m ² (大阪市住之江区泉一丁目 1 番 71 号)	百万円 955	百万円 2,533	百万円 126	百万円 1,704	百万円 1,704

(注 1) 譲渡価額は外部不動産鑑定士による鑑定評価額に基づき決定しております。

(注 2) 連結子会社に対する譲渡であります。未実現損失のため連結決算上消去せず、固定資産売却損として計上する予定です。

(3) 譲渡の相手先の概要

① 名 称	住之江興業株式会社
② 所 在 地	大阪市住之江区泉一丁目 1 番 71 号
③ 代表者の役職・氏名	取締役社長 山部 茂
④ 事業内容	住之江競艇場施設の賃貸・ボートピア梅田の運営受託
⑤ 資 本 金	400 百万円
⑥ 設 立 年 月 日	昭和 27 年 5 月 15 日

⑦ 純 資 産	14,946 百万円 (平成 23 年 3 月 31 日現在)	
⑧ 総 資 産	22,810 百万円 (平成 23 年 3 月 31 日現在)	
⑨ 大株主及び持株比率	南海電気鉄道株式会社 91.4% (議決権割合)	
⑩ 当社と当該会社の関係	資本関係	上記⑨記載のとおりであります。
	人的関係	当社より取締役及び監査役を派遣しております。
	取引関係	当社より競艇場用地及び施設を賃貸しております。
	関連当事者への該当状況	当該会社は当社の子会社であるため、関連当事者に該当します。

(4) 譲渡の日程

平成 24 年 3 月 29 日 取締役会決議
平成 24 年 3 月 30 日 譲渡契約締結 (予定)
平成 24 年 3 月 30 日 物件引渡し (予定)

(5) 今後の見通し

当該固定資産の譲渡に伴い、平成 24 年 3 月期決算において特別利益として固定資産売却益 (借地権相当額) を個別で 126 百万円、特別損失として固定資産売却損を個別で 1,704 百万円、連結で 1,704 百万円計上する見込みです。

2. 減損損失の計上について

当社及び当社グループが保有する一部の固定資産について、景気低迷の長期化等の影響により当初の想定と比べ収益性が著しく低下したことや、地価の著しい下落等により投下資金の回収が困難と見込まれることから帳簿価額を回収可能価額まで減額する見込みとなりましたため、平成 24 年 3 月期決算において特別損失として減損損失を個別で 6,149 百万円、連結で 6,741 百万円計上する見込みです。

3. 通期業績予想の修正について

(1) 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	192,900	17,700	9,900	5,300	10.14
今回発表予想 (B)	182,900	17,400	10,000	4,800	9.18
増減額 (B-A)	△10,000	△300	100	△500	—
増減率 (%)	△5.2	△1.7	1.0	△9.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	186,164	19,900	11,466	3,054	5.84

(2) 平成 24 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	90,800	13,800	5,800	3,100	5.93
今回発表予想 (B)	90,600	14,100	6,500	3,100	5.93
増減額 (B-A)	△200	300	700	—	—
増減率 (%)	△0.2	2.2	12.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	79,392	12,258	9,239	6,789	12.99

(3) 修正の理由

通期の連結業績予想については、売上高はM&A等による拡大を見込んでおりましたが、経済環境を踏まえ慎重に検討していることや、建設業において完成工事高が前回予想より下回る事等により 100 億円減少する見込みです。利益面では減収等により営業利益は前回予想を下回る見込みであるものの、経常利益は支払利息の減少等もあり前回予想を上回る見込みです。また、当期純利益は法定実効税率等の変更に伴う法人税等調整額の減少を見込むものの、特別損失として、上記1に伴う固定資産売却損及び上記2に伴う減損損失の計上が見込まれることにより、5億円減少の48億円となる見込みです。

通期の個別業績予想については、売上高は2億円減少の906億円を見込むものの、利益面ではコスト削減及び支払利息の減少等もあり営業利益、経常利益とも前回予想を上回る見込みです。また、当期純利益は特別損失として上記1及び2の損失の計上を見込むものの、法定実効税率等の変更に伴う法人税等調整額の減少が見込まれることにより前回予想を据え置いております。

(注) 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上